

問1 南アメリカ大陸を流れるある河川は、赤道付近に位置し、世界最大の流域面積を持つ。この河川は豊かな流量を誇り、本流や主要な支流沿いに農産物や鉱産物の輸出港が点在し、河口から遠く離れた上流まで大型船舶の航行が可能である。この河川の名称を答えよ。（2006年 全国公立入試 類似）

1. オリノコ川 2. パラナ川 3. ラプラタ川 4. アマゾン川

問2 陸地の周辺に広がる水深200m程度までの緩やかな傾斜を持つ平坦な海底地形で、東南アジアのマレー半島やカリマンタン島に囲まれた海域、あるいはメキシコ湾からユカタン半島周辺にかけて広く発達し、好漁場や海底資源の宝庫となっているものを何というか。（2022年 全国公立入試 類似）

1. 大陸棚 2. 深海盆 3. 海底谷 4. 大陸麓

問3 赤道付近の低緯度地域に広く分布し、一年を通じて太陽放射の季節変化が極めて小さいため、気温の年較差が最小となる。年中高温多雨で、植生としては多種類の常緑広葉樹からなる密林が形成されるケッペンの気候区分における気候区は何か。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 温暖湿潤気候 2. 熱帯雨林気候 3. 地中海性気候 4. 西岸海洋性気候

問4 青森県八戸付近の海岸部において、馬淵川の河口付近に発達した砂州によって海が堰き止められて形成された、サロマ湖や八郎潟などと同様の成因を持つ湖沼を何というか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 塩湖 2. 潟湖 3. 池沼 4. 礁湖

問5 ユーラシア大陸東岸の中緯度・高緯度地域は、同緯度の大陸西岸に比べて冬の寒さが非常に厳しく、気温の年較差が大きくなる。この気候特性をもたらす要因として、冬季にユーラシア大陸内部で著しく発達し、東岸地域へ冷たく乾燥した風を吹き出す高気圧の名称を何というか。（2014年 全国公立入試 類似）

1. チベット高気圧 2. アソレス高気圧 3. シベリア高気圧 4. ブラジル高気圧

問6 地中海沿岸において、オリーブやブドウなどの果樹栽培に適した赤褐色の間帯土壌（テラロッサ）が形成される要因となった、風化前の基盤となる岩石は何か。（2011年 全国公立入試 類似）

1. 凝灰岩 2. 角礫岩 3. 石灰岩 4. 苦灰岩

問7 鳥取県西部に位置する弓ヶ浜半島は、美保湾と汽水湖を分けるように発達した細長い地形景観を呈している。このように、沿岸流や波によって運ばれた砂礫が、湾の入り口を塞ぐように、あるいは島と陸地を繋ぐように細長く堆積して形成された地形を何というか。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 砂嘴 2. 潟湖 3. 砂州 4. 浜堤

問8 島根半島の東部から南東方向を望むと、弓状に細長く伸びる砂州の左右にそれぞれ異なる水域が広がっている様子が観察できる。この砂州の西側に位置し、大橋川を通じて宍道湖とも連結している、日本で5番目に大きい面積を持つ汽水湖の名称を答えよ。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 北浦 2. 瀬沼 3. 西湖 4. 中海

問9 南半球の南太平洋西部で発生する熱帯低気圧は、発生後に高緯度側へと移動する。この熱帯低気圧が、赤道付近から南へ進み、さらに南東方向へと進路を変える際に影響を与える、地球の自転に伴って運動する物体に働く見かけの力を何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 重力 2. フーコーの振り子 3. 遠心力 4. コリオリの力

問10 ユーラシアプレートとインドプレートの衝突によって形成されたヒマラヤ山脈を擁するネパールでは、標高の高い山岳地帯において、山岳氷河による鋭い侵食谷が刻まれた険しい地形が広がっている。このような、中生代以降のプレート運動によって形成され、現在も地殻変動が活発で険しい山脈が連なる地帯を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 大地溝帯 2. 新期造山帯 3. 火山列島 4. 古期造山帯

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 4 アマゾン川	世界最大の流域面積と豊かな流量を誇るこの河川は、河口から数千キロメートル上流まで大型船舶が航行できる天然の水路として機能している。流域には広大な熱帯雨林（セルバ）が広がり、沿岸の都市は木材や鉱物資源、農産物の積出港として発展している。これに対し、ラブラタ川やオリノコ川などは流域面積や流量の規模、航行条件において異なる特徴を持つ。
問2	答え 1 大陸棚	陸地から続く傾斜の緩やかな浅い海底で、水深約200mまでの平坦な地形を指す。東南アジアのスンダ海峡周辺（スンダランド）や、中央アメリカのコカタン半島周辺などに広く分布している。浅海であるため日光が届きやすく、プランクトンが豊富で好漁場となるほか、石油や天然ガスなどの資源が埋蔵されていることが多い。
問3	答え 2 熱帯雨林気候	赤道付近の低緯度地域では、一年を通じて太陽高度が高く、太陽放射の季節変化が極めて小さいため、気温の年較差が最も小さくなる。この地域に分布する気候区は、年中高温多雨で密林（ジャングルやセルバ）が発達する特徴を持つ。
問4	答え 2 潟湖	沿岸流などによって運ばれた砂礫が堆積して砂州が形成され、これによって入り江や海が外海から遮断されてできた湖沼を潟湖（ラグーン）と呼ぶ。青森県八戸付近の海岸部に見られる沼も、かつて馬淵川に合流していた河川の名残（三日月湖など）ではなく、砂州の発達によって堰き止められた潟湖である。
問5	答え 3 シベリア高気圧	冬季のユーラシア大陸内部は放射冷却によって極めて低温になり、高密度な冷たい空気の塊が形成される。これにより発達する高気圧から吹き出す冷たい季節風が、大陸東岸の冬の寒さを厳しくし、気温の年較差を大きくする原因となっている。
問6	答え 3 石灰岩	テラロッサは、温暖な気候のもとで石灰岩が化学的風化（溶食）を受けて形成された間帯土壌である。石灰岩の主成分である炭酸カルシウムが雨水に溶け出し、溶け残った鉄やアルミニウムの酸化物が地表に集積することで赤褐色を示す。この土壌は排水性が非常に良いため、夏季に乾燥する地中海性気候下での果樹栽培に適している。カルスト地形を形成する岩石としても知られる。
問7	答え 3 砂州	沿岸流や波の作用によって運ばれた砂礫が、湾の入り口を塞ぐように細長く堆積した地形を砂州と呼ぶ。弓ヶ浜半島はその代表例であり、美保湾と中海を隔てている。砂州がさらに発達して対岸の島と陸地を繋いだものは陸繋砂州（トンボロ）と呼ばれる。
問8	答え 4 中海	島根半島と弓ヶ浜半島（砂州）に囲まれた水域は中海と呼ばれる汽水湖である。中海は境水道を通じて日本海（美保湾）と、大橋川を通じて宍道湖とつながっており、塩分濃度が変化する汽水湖としての特徴を持つ。かつて国営干拓・淡水化事業が計画されたが、環境保護などの観点から中止された歴史を持つ。
問9	答え 4 コリオリの力	地球の自転によって、運動する物体にはその進行方向を曲げようとする見かけの力が働く。これをコリオリの力（偏向力）と呼ぶ。南半球では進行方向に対して左向きに働くため、低緯度から高緯度（南）へ向かう熱帯低気圧は、この力や偏西風の影響を受けて東寄りの進路（南東方向）へと曲がることになる。
問10	答え 2 新期造山帯	ネパールが位置するヒマラヤ山脈周辺は、プレートの衝突によって形成された地域に属する。この地域では現在も隆起活動が活発であり、標高の高さから山岳氷河が発達し、鋭い侵食地形（U字谷やホルンなど）が形成されている。